

・今回の臨時mtgでは、コメントしたものの意図が伝わらなかったという麻美さんの事例を元に話をした。

これは私も過去野生ポストにコメントした時に経験があつて、軌道修正できないまま終わってしまったことが何度もある。

話をしていく中で、まず「相手に伝わっていないことがわかってるかどうか」がファーストステップなのだということがわかった。

伝わってないまま話を進めても平行線で、伝わってないことがわかって初めて次の一手が考えられる。

それは相手の反応だったり、日頃の観察が大事なのだと、陽子さんとメンバーの実際のやり取りを見て思った。

そして、踏み込めないのは、勇気が足りないからだといメンバー全員が思っていたけど、今回のmtgで陽子さんから「勇気は最後のスパイスだ」という金言をもらった。

今までのmtgで、踏み込めない理由には、「気付けない問題」と、「言語化できない問題」の2種類あると話をして来たが、「言語化できない」のは、情報収集や思考の明確化が足りていないということで、そこがしっかりしてれば、踏み込むのに勇気は必要ないのだという。

踏み込むために必要なステップを、今回のmtgで体系的に理解することができた。

以前コーチング練習会で、「踏み込み」をダーツに例えて話をしてもらったことがあった。的(相手)までの距離が遠いの

に矢を放つても、当然確度は下がる。(確率が低いのに、えいやで投げてる状況)

それに対して、相手を知った上で、伝えたいことが明確であれば、的(相手)は自然と近くなるので、当然確度が上がる。以前聞いた時はそういうものなのか～という感覚だったけど、今回は納得感を持って聞くことができた。

そして、今回mtgの中で、私が全く気付いてなかったことに対して、「あゆみさん、麻美さんはなぜ踏み込めなかったのか聞いてみな」と陽子さんに話を向けられたものの、全く踏み込んだ会話ができなかったという反省があった。

コメントやmtgのフィードバックコーナーでのやり取りは、ある意味事前準備ができるけど、実際の会話の中でそれをやるのは、まだまだ難易度が高いのだということを思い知った。目の前で陽子さんがメンバーに踏み込む姿を見て、これが踏み込むってことなんだというのを見せてもらった。

また、麻美さんがmtgの中で、あゆみさんにはあゆみさんの踏み込み、えみさんにはえみさんの踏み込み、私には私の踏み込みがある。私は目標達成のことに対しては踏み込めるなと思ったと、自分なりの答えをみつけていたのが素晴らしいなと思った。

三者三様の踏み込みをみつけることが、ゴールなのかもしれないと思った。

今回のmtgで陽子さんが伝えてくれたのは、努力で埋められる部分があるという非常に前向きなメッセージだった。

下手くそでもチームItoのメンバーは必ず耳を傾けてくれると思うし、伝える努力は怠りたくないなと思った。

(E.M 40代女性 埼玉県)